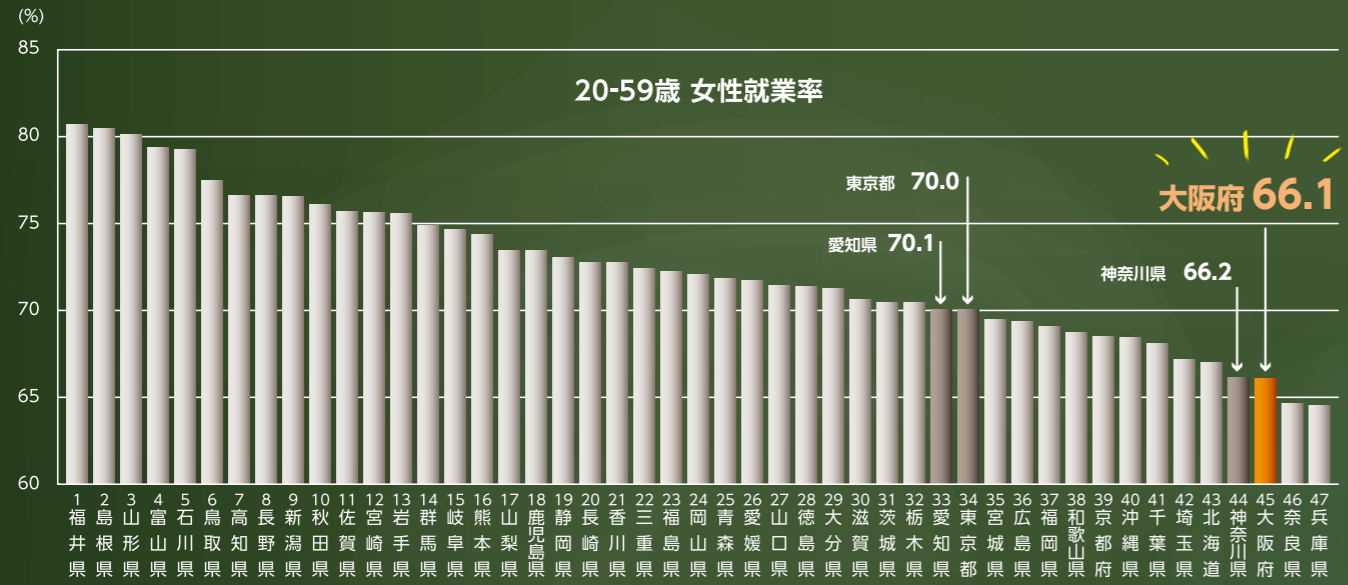


統計から見えてくる!

女性の活躍が企業成長のカギ!

大阪府の女性就業率はワースト3

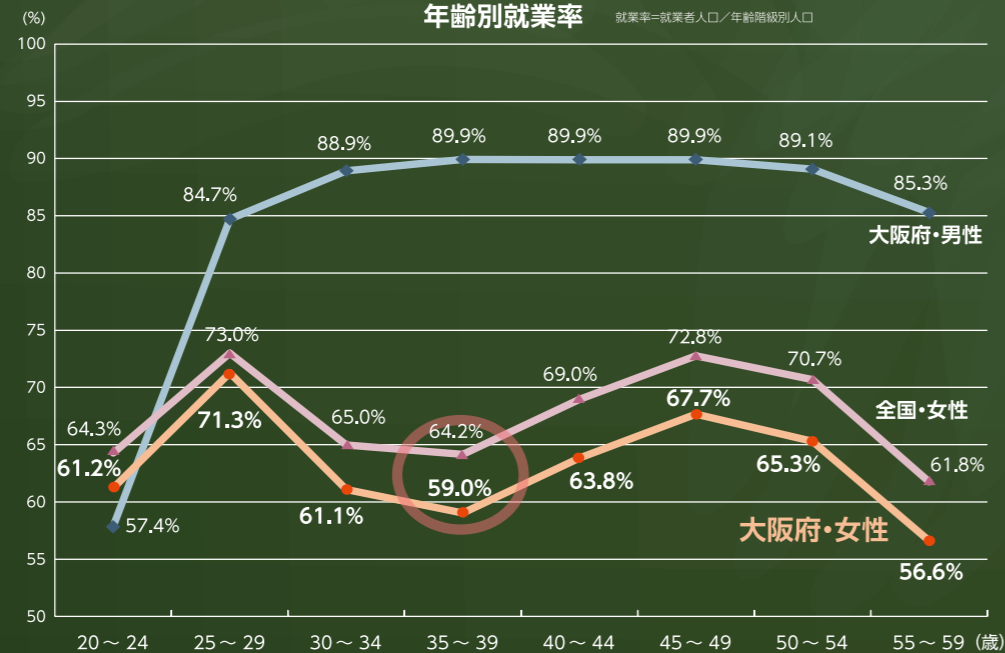
大阪府の女性就業率(20-59歳)は66.1%で、47都道府県中45位と低い水準。



出典：総務省「就業構造基本調査」(平成24年)

大阪府は「M字」の谷の部分が高い!

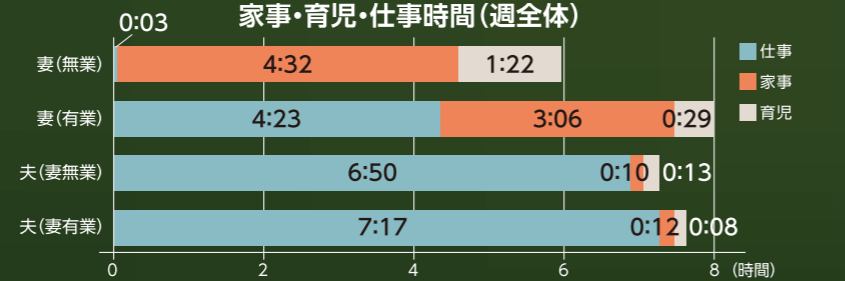
女性の就業率は、結婚・出産期に当たる年代に一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇するという、いわゆる「M字カーブ」を描く。また、大阪府は全国に比べてM字の谷が深いのが特徴。



出典：総務省「国勢調査」(平成22年)

家事や子育ての負担は女性に集中!

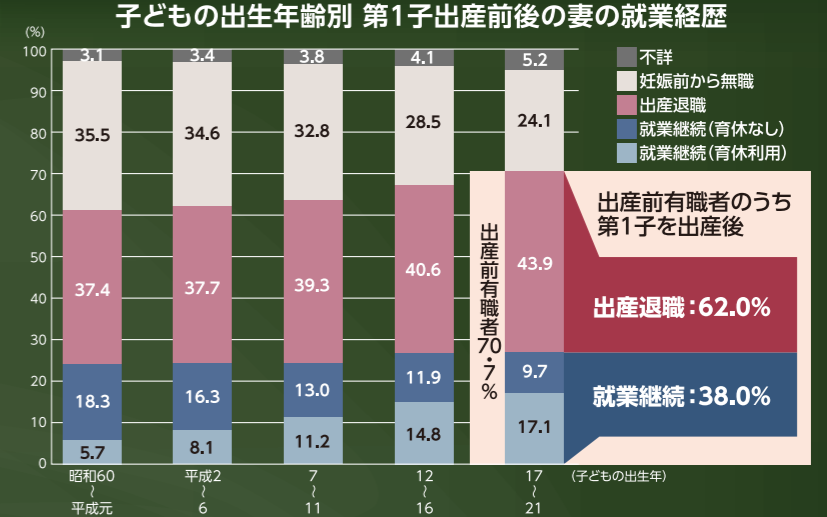
家庭での家事や子育ての負担は、就業の有無にかかわらず、女性に集中している。



出典：総務省「社会生活基本調査」(平成23年)

働いていた人の6割が出産退職!

育休を取得し、就業を継続する女性の割合が増える一方で、出産前有職者のうち約6割が第1子出産を機に退職している。この傾向は、ここ20数年間変わっていない。



出典：内閣府パンフレット「ひとりひとりが幸せな社会のために 平成28年度版データ」

男性の育休取得率はわずか2.65%!

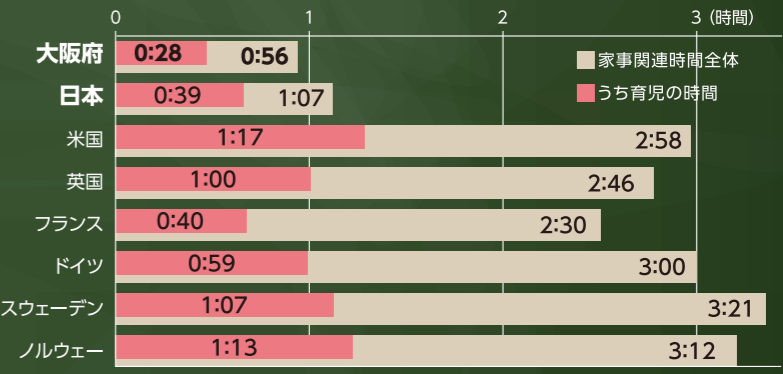
女性の育児休業取得率は、この15年くらいで倍程度になり、8割以上の方が取得している。一方、男性の育児休業はわずか2.65%、取得しても5日未満が約6割を占める。



夫の育児時間、大阪府は28分!

6歳未満の子どもを持つ夫の育児・家事関連に費やす時間は、日本は北欧の3分の1と他の先進国と比較しても低い水準。大阪の男性の育児時間は、日本の平均よりもさらに10分短い。

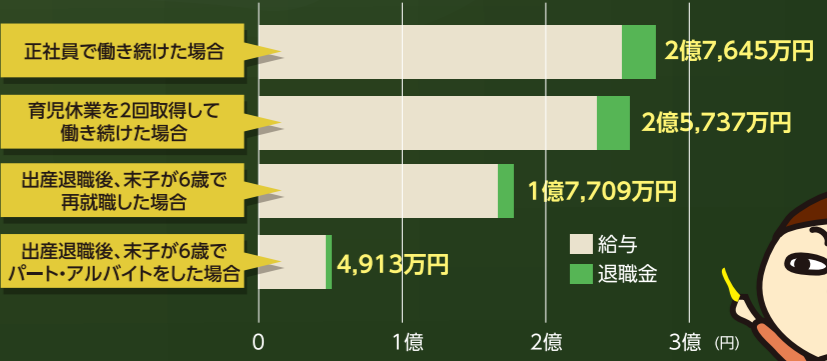
6歳未満の子どもを持つ夫の1日あたりの家事・育児関連時間の国際比較



備考 EuroStat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" 1. (2004), Bureau of Labor Statistics of the U.S. "American Time Use Survey" (2013)及び総務省「社会生活基本調査」(平成23年)より作成。2. 日本と大阪府の数値は、「夫婦と子どもの世帯」に限定した夫の1日当たりの「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計時間(週全体平均)である。

働き方で大きく変わる女性の生涯賃金

大学卒業後、22歳で就職、28歳で第1子、31歳で第2子を出産と仮定して試算。正社員として働き続けた場合と、出産時に退職し、パート・アルバイトで再就職した場合には、約2億2,700万円の差が開く。なお女性の6割が非正規雇用であり、その割合は増加してきている。



出典：国民生活白書(平成17年版)

